

2021.10.12.tuesday

学修・教育開発センター（CRED）

狭山校舎（子ども支援学科、リハビリテーション学科）においても、スタートアップセミナー自主自律が実施されています。方法論、細部は板橋校舎と違えど、同じ東京家政大学生としての学びに変わりはありません。本号では、狭山校舎での取り組みについてご報告をいただきます。

子ども支援学科の取り組み



野口隆子 准教授
子ども支援学科

本学科では、スタートアップセミナー自主自律の授業実施3年目を迎えました。

初年度は初めての試みに向けて準備を進め、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため教室での対面がかなわずmanabaを利用し、そして令和3年度は対面授業とメディア授業での実施となりました。

授業者として、受講者にとって必要な指導・援助を常に共同担当教員と共に考えた授業だったと思います。

今年も新入生同士が初めて出会うクラス・グループの仲間との協同学習、PCの操作、新しく知る知識や考え方など、戸

惑いもあったのではないかと思います。本学の歴史と先人の思いに触れ、現代社会の動向を調べながら、これからどのように大学で学んでいきたいのか具体的に考え伝えあい、毎回意欲的で明るい姿が見られました。授業をサポートしてくれた4年生SAの話に刺激を受け、質問する姿もありました。経験が積み重なり、思考や表現も豊かになっていく姿を見ることができた半年となりました。

今後も保育を学ぶ4年間で充実し、自己の成長を実感できるようサポートを続けたいと思います。

リハビリテーション学科の取り組み

本学科では、作業療法学専攻と理学療法学専攻の共同科目として二年目の取り組みとなりました。一年目の経験を活かし、磯先生とマネージメントを行い、各授業は全教員が順番に担当する学科全体でのサポートを継続しました。

昨年度は感染状況に応じて、グループワークの方法をWebex Training（前期）や対面形式（後期）に変更するなど、異なる方法を取る必要があり、質の維持に苦労した記憶があります。

今年度は、できるだけグループワークの質を維持できるように感染対策を整備

した上で、体調管理を行いながら全14回を対面形式で実施しました。授業に関わる学生同士、さらに教員とも表情を見ながら、瞬時に対応できることに重きを置いた結果、この方法を選択し、慣れないながらも意見を絞り出し、直接顔を合わせ、リアルタイムにディスカッションを進めていきました。

今年度の新入生にとって、早い段階から大学で顔を合わせることで、同じ空間でグループワークを行えたことは、今後の演習などの授業や外部実習でも大きな助けになると考えています。



村上幸士 准教授
リハビリテーション学科



授業の感想を紹介します

授業アンケートの自由記述の中から、いくつかのコメントを紹介いたします。

子ども支援学科

- 東京家政大学の歴史や女性における社会の現状などを理解することが出来ました。グループ活動では、初対面の人との会話は、緊張しましたが段々慣れていき自分の意見を積極的に出したり、相手の意見を聞く姿勢を意識することが出来ました。最後に自分でスライドを作り、発表をしたことを振り返り、自分の足りない力が理解でき、次に進むための課題を見つけることが出来ました。この授業で学んだことは将来に必要な力になると思うので、これからも学びを大切に行動していきたいです。
- 自分の意見を言うことが苦手だったが、この授業で、グループで話をしていくうちに積極的に意見が言えるようになった。自分には思いつかなかった視点からの考えを知ることができ、意見交換することの大切さを感じた。オンラインでのグループの話し合いは、難しかったが、やっていくうちに少しずつ慣れることができた。
- 最初は、同じグループの人たちと上手く話せるか、自分の考えをわかりやすく伝えることが出来るかなど色々な不安がありました。けれど、回数を重ねるごとに自分から積極的に発言をしたり、他の人の意見をよく聞いてそこから話を発展させていったりなどということができるようになりました。グループの人たちとも仲良くなることが出来たので良かったです。自分たちで課題を決めて、そこから解決策を考えていくことは容易なことではなかったけれど、協力して工夫しながら進めていくことができたので良かったです。他の人の話を聞くことで、様々な発見があって面白かったです。
- 授業内容の説明の仕方や時間の区切りなど、私たち学生の様子をみて判断しながら進めて下さったので、受けやすい授業でした。またグループでの話し合いを通じて、自分の考えやこれからの生き方について考え直すきっかけとなったので良かったです。

リハビリテーション学科

- 前期の授業で最も、グループワークなどが多くて自分的にはとても有意義な内容の授業でした。作業と理学が一緒になることで様々な意見が飛び交って、それをまとめたり、聞いたりするのは楽しかったです。グループワークの必要性や、重要性を知る授業でもありました。ありがとうございました。
- 高校まででは中々できない授業だったので新鮮でした。社会に出る時に必要な力をつけるための学びが多かったと感じたのでこの授業を受けれてよかったです。
- 自分には無い視点や意見を聞いたので参考になった。プレゼンがみんな上手くて納得する内容が多かった。
- グループディスカッションで初めて話す人と接する時に上手くコミュニケーションが取れると発表等も上手く行き、グループ全体での達成感や盛り上がりも凄かった。最後のプレゼン発表の際、グループでのコミュニケーションが不足していたために満足のいく形にはならなかったけれど、どう対処すればいいかなど、色んなことに頭を使えたり、すごく勉強になったと思う。プレゼンや発表の時に先生に「ここは必要だと思うか」「ここはどう補足すれば良いか」など質問すると細かく親身な意見をくれたので、個人的にはすごく好きな授業だった。
- 普段あまり考える機会のない女性を取り巻く問題や必要なことなど様々なことについて詳しく話し合ったり、意見を持ったりすることができました。自分では大きな問題は解決できないが、日常生活の中で行えることもあることに気づいたので、小さなことから行動していきたいと思いました。
- 今の女性の現状についてや、大学についての詳しいことを学ぶことができ、それを自分だけでなく他者とも共有して、より理解を深めることができてよかった。今後にも活かせることを学んだので、しっかりと意識をして学校生活や仕事に取り組んでいきたいと思った。

スタートアップセミナー 自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館1階）

TEL : 03-3961-0284 E-mail : startup@tokyo-kasei.ac.jp